

I

令和7年度施策概要



1 生涯学習・社会教育の体系

～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン
(R4～R7年度)

戦略

ねらい

目指す“4年後の姿”

目指す
教育の姿最重点の
教育課題

基本方針

戦略6

教育・人づくり戦略

本県教育の基本である「ふるさと教育」を一層推進しながら、心豊かで郷土愛に満ち、高い志と公共の精神を持って未来を力強く切り拓く人づくりに取り組めます。

目指す姿1

秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成

目指す姿2

確かな学力の育成

目指す姿3

グローバル社会で活躍できる人材の育成

目指す姿4

豊かな心と健やかな体の育成

目指す姿5

地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

目指す姿6

生涯にわたり学び続けられる環境の構築

ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり

地域に根ざしたキャリア教育の充実

“「問い」を発する子ども”の育成

基本方針4

豊かな心と健やかな体の育成

基本方針5

子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築

基本方針6

誰もが生涯にわたり学び続けられる環境の構築

第4期あきたの教育振興に関する基本計画
(R7～R11年度)

施策の柱

基本方針と主な取組

自他を尊重する心を
育む教育の推進

- 体験活動・交流活動の充実
 - ・少年自然の家等における宿泊体験活動の推進
 - ・秋田型アドベンチャープログラムの充実と提供
 - ・幅広い年齢層のニーズに応じたプログラムの開発と提供

主体的に社会の形
成に参画する態度を
育む教育の推進

- 持続可能な社会の創り手を育成する環境教育の推進
 - ・発達の段階に応じた豊かな自然体験活動等の推進
 - ・家庭、地域、社会教育施設等との連携による体験活動や交流活動の推進

学校・家庭・地域の
連携・協働の推進

- 地域社会全体で子どもの成長を支える体制の構築
 - ・地域学校協働活動の運営支援と一体的な実施の促進
 - ・社会教育主事や地域学校協働活動推進員等、地域学校協働活動を支える人材の養成と活用
 - ・コミュニティ・スクールに関する教職員等への理解促進と円滑な運営体制構築への支援
- 家庭教育支援の充実
 - ・家庭教育支援を担う人材の育成と家庭教育支援チームの組織化の推進
 - ・アウトリーチ型支援の取組を拡充させるための研修等の実施
 - ・家庭教育支援チームによる相談や学習機会の提供への支援

多様な学びの場づ
くりと学びを通じた
地域づくりの推進

- 生涯学習の機会の充実
 - ・民間企業や関係団体等との連携による県民の学習機会の充実
 - ・県民のニーズに対応したあきた県庁出前講座の実施
 - ・地域課題や現代的課題に関する学習機会の充実
 - ・県内の生涯学習情報に係るウェブサイト上での提供
- 地域コミュニティの活性化に向けた社会教育の推進
 - ・地域課題の解決に向けた協議会等の実施
 - ・ICTの活用による、多様な主体との連携・協働に向けた取組事例の共有
 - ・社会教育人材のネットワーク構築に向けた交流機会の充実
- 読書活動の推進
 - ・地域の読書環境の充実に向けた市町村立図書館等への支援
 - ・子どもたちの読書習慣の形成に向けた学校図書館への支援
 - ・乳幼児から高齢者まで多様な読書ニーズに対応した図書資料の充実
 - ・地域や学校等において読書活動を推進する人材の育成
 - ・読書を通じた多世代交流の機会の充実

良質な文化芸術に
親しむ機会の充実

- 文化芸術体験の機会の充実
 - ・児童生徒に対する優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供
 - ・芸術家の派遣による学校における文化芸術の鑑賞・体験機会の提供
 - ・児童生徒が伝統文化を計画的・継続的に体験・習得できる機会の提供
 - ・美術館・博物館における秋田ゆかりの展示及び教育普及の充実
- 全ての人に開かれた美術館・博物館づくりの推進
 - ・良質な文化芸術に親しみ、楽しむことができる魅力的な特別展の開催
 - ・美術館・博物館を核とした多様な主体との連携・協働による地域課題・文化観光需要等への対応
 - ・県内の美術館・博物館等によるネットワークの形成と強化
 - ・美術館・博物館におけるデジタルアーカイブ化をはじめとするDXの推進

【第4期あきたの教育振興に関する基本計画（令和7～11年度）】

- （基本方針4） 豊かな心と健やかな体の育成
- （基本方針5） 子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の構築
- （基本方針6） 誰もが生涯にわたり学び続けられる環境の構築

2 重点施策

（1）多様な学びの場づくりと学びを通じた地域づくりの推進

学校、家庭、地域をはじめとする幅広い関係者との連携・協働や人材育成により、生涯学習・社会教育を推進する体制の持続可能性を高めていくとともに、多様な学習機会の提供や学習環境の充実に向けた取組を推進し、学びによって得られた成果を地域の活力創出につなげていく。

- ① 学びを通じて多様な人々がつながるネットワークの構築
- ② 学びを通じた地域づくりを支える人材の養成と育成
- ③ 誰もが生涯にわたって学び続けるための環境の整備

（2）豊かな人間性を育む教育活動の充実

大きく変化する社会の中で、子どもから大人まで、誰もが生涯にわたり、主体的に学びに取り組むことができるよう、社会の動向や要請等も踏まえ、多様な教育活動の展開を図る。

- ① 社会教育施設における自然体験活動や集団宿泊体験活動の充実
- ② 生涯を通じた読書を支援する環境の整備
- ③ 地域全体で家庭教育を支える体制の整備

（3）良質な文化芸術に親しむ機会の充実

多様な文化芸術の鑑賞・体験機会の提供により、豊かな心や感性、創造性を育むとともに、美術館・博物館同士や地域の様々な主体と連携し、全ての人に開かれた美術館・博物館づくりを推進する。

- ① 学校や地域における文化芸術体験活動の充実
- ② 美術館・博物館における展示・普及事業の推進
- ③ 全ての人に開かれた美術館・博物館づくりの推進

3 令和7年度事業概要

(1) 多様な学びの場づくりと学びを通じた地域づくりの推進

①学びを通じて多様な人々がつながるネットワークの構築

事業名	趣 旨	内 容	期日及び場所
学校・家庭・地域連携 総合推進事業 【学校支援活動】 (H20～) 【家庭教育支援チーム】 (H28～) 【放課後子ども教室】 (H19～) 【あきた未来塾】 (H29～) 【コミュニティ・スクール導入促進】 (H29～)	地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える地域学校協働本部を設置し、協働活動を始めとする地域学校協働活動を推進する。統括及び地域学校協働活動推進員等、関係者を対象とした研修会を実施する。保護者や地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールや公民館等との連携を促進し、地域学校協働本部と一体的に事業を実施するための組織づくりを進める。 【協働活動】 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーターを含む）が、地域と学校の連絡調整を行い、学習支援や学校行事支援、見守り等、学校のニーズをもとに地域人材を集め、教員が児童生徒一人一人に向き合う時間を拡充するとともに、地域全体で子どもを育む環境を整備する。 【家庭教育支援チーム】 地域人材がチームで家庭教育に関する学習機会等の提供や相談活動を行い、地域全体で家庭教育を支える取組や体制づくりを支援する。 【放課後子ども教室】 放課後や休日等に学校の余裕教室等で、児童を対象とした学習活動や体験活動等の機会を提供する。また、放課後児童クラブとの一体型運営を促進する。 【あきた未来塾】 放課後や土曜日、長期休業中にすべての子どもたち（小・中・高）を対象に、大学生や教員OBをはじめとした多様な地域人材による学習支援を実施する。	【学校と家庭をつなぐ地域人材の育成】 [県の取組] ○運営協議会、連携協議会の開催 ○総合推進事業関係者研修、家庭教育支援指導者研修の開催 【地域学校協働本部の設置】 [県の取組] ○県立学校における学校支援活動 ・高等学校 1 ・特別支援学校 1 [市町村の取組] ○協働活動 ・補助金活用市町村 24市町村102本部 ○家庭教育支援チーム補助金活用市町村 8市町村15チーム ○放課後子ども教室 ・補助金活用市町村 16市町村103教室 ○あきた未来塾の運営 ・補助金活用市町村 7市町村25箇所 【コミュニティ・スクール導入促進】 ・コミュニティ・スクール連絡協議会の開催 ・導入促進に係る研修会の開催	○運営協議会 ① 6/6（金） ② 9/5（金） ③ 1/16（金） ○連携協議会・全県開催 ① 5/30（金） ② 1/30（金） ○地域学校協働活動推進員、地域連携担当教職員等研修会 ① 全県開催 6/18（水） ② 各地区開催 ・ 県北地区 8/7（木） ・ 中央地区 8/1（金） ・ 県南地区 11/21（金） ○家庭教育支援指導者等研修会 ① 5/29（木） ② 7/10（木） ③ 9/25（木） ④ 11/20（木）
県事業	【コミュニティ・スクール導入促進】 コミュニティ・スクールの導入を促進するため、県内外の事例を教育庁内や導入準備校で共有し、組織や運営体制づくりを支援する。		
平成25年度			

事業名	趣 旨	内 容	期日及び場所
学びを通じた地域づくりプラットフォーム構築事業	県と市町村が協議の上設定した地域課題に取り組み、市町村等が学習プログラムの構成を検討し、実践に生かす。また、オーダーメイド型社会教育主事派遣等による直接的な支援に加え、講座等の具体的内容や運営方法などをまとめたeポートフォリオをホームページ上で公開することで全県域で情報共有を図る。	○県設定の地域課題 (1) 共生社会実現のための「障害者の生涯学習」 ・地域連携コンソーシアムの開催 ・eポートフォリオの作成 ・オーダーメイド型社会教育主事派遣 (2) 関係人口創出のための「教育留学」 ・教育留学コンソーシアムの開催 ・eポートフォリオの作成	「障害者の生涯学習」 ○地域連携コンソーシアム ① 6/12 (木) ② 9月 ③ 1月 「教育留学」 ○教育留学コンソーシアム ① 5月
県事業 令和7年度			
生涯学習推進本部	庁内各部局や関係機関等との全庁的な連携を構築して生涯学習施策を推進する。	○生涯学習に資する施策の総合的な企画、調整及び推進に関すること ○生涯学習関連事業に係る関係機関及び関係団体との連絡調整に関すること ○その他、生涯学習の推進に必要な事項に関すること	○必要に応じて開催
昭和47年度設置			
生涯学習審議会	生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項を調査審議する。	○審議会が必要に応じて開催(平成30年度から秋田県社会教育委員が兼任)	○必要に応じて開催
社会教育委員の会議	社会教育行政に関わる施策について協議する。	○社会教育委員の会議の開催 ○提言の作成	・ 通年
社会教育アドバイザーの配置	社会教育及び家庭教育に関わる指導助言をする。	○生涯学習課、北・南教育事務所に各1名を配置	・ 通年
学習の成果を生かした人づくり・地域づくりへの支援	生涯学習の成果を人づくり・地域づくりに生かすため、生涯学習団体の支援や現代的な課題・ニーズに対応した生涯学習のあり方に関する研究や実践を行う。	○現代的な課題(障害者の生涯学習、地域課題解決等)の解決に向けた学びの場を企画・運営しようとする団体をサポートする ・ 団体立ち上げの支援 ・ 運営及び活動への支援 ・ 情報の提供 ○現代的な地域課題やニーズに対応した生涯学習のあり方に関する研究と実践	・ 通年
社会教育関係団体助成	青少年の健全育成、家庭や地域の教育力の向上を図るため、社会教育関係団体の活動活性化のために財政的な援助を図る。	○社会教育団体への全国・東北大会派遣費・運営費の助成 全国青年大会(秋田県連合青年会)	・ 通年

②学びを通じた地域づくりを支える人材の養成と育成

事業名	趣 旨	内 容	期日及び場所
社会教育主事 有資格者養成事業	社会教育行政を担う専門的教育職員（社会教育主事）となる資格を有する教員を確保していくため、県内各地区、各年齢層及び各校種にバランスよく社会教育主事の資格を持つ若手教員を養成する。 学校における地域連携を推進するため、社会教育主事有資格者教員等の育成を図る。	〔養成〕北東北地域で開催される社会教育主事講習に各教育事務所等から推薦された若手教員を派遣する。 ※令和7年度受託機関（主会場）：岩手大学 〔育成〕社会教育主事有資格者教員等の育成をねらいとした研修を開催する。	・社会教育主事講習事前研修 7/2（水） ・社会教育主事講習 7/14（月）～8/7（木） ・社会教育主事講習事後研修 1/8（木）
県事業 平成27年度			
社会教育主事の 市町村派遣	市町村における社会教育行政の充実に資するため、申請のあった市町村教育委員会に対し、社会教育主事を派遣する。	○八峰町 あきた白神体験センター ○北秋田市 あきたリフレッシュ学園	・通年

③誰もが生涯にわたって学び続けるための環境の整備

事業名	趣 旨	内 容	期日及び場所
学びを通じた地域 づくりプラットフォーム構築事業 〔再掲〕	県と市町村が協議の上設定した地域課題に取り組み、市町村等が学習プログラムの構成を検討し、実践に生かす。また、オーダーメイド型社会教育主事派遣等による直接的な支援に加え、講座等の具体的内容や運営方法などをまとめたeポートフォリオをホームページ上で公開することで全県域で情報共有を図る。	○県設定の地域課題 (1) 共生社会実現のための「障害者の生涯学習」 ・地域連携コンソーシアムの開催 ・eポートフォリオの作成 ・オーダーメイド型社会教育主事派遣 (2) 関係人口創出のための「教育留学」 ・教育留学コンソーシアムの開催 ・eポートフォリオの作成	「障害者の生涯学習」 ○地域連携コンソーシアム ①6/12（木） ②9月 ③1月 「教育留学」 ○教育留学コンソーシアム ①5月
県事業 令和7年度			
あきたスマート カレッジ事業	県民が秋田の良さや現代的課題・地域課題を知り、地域理解と社会参加を促進する学習機会を提供し、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の構築を目指す。	○地域の特色学び講座 ○熟議ファシリテーター講座 ○障害者の生涯学習講座 ○防災講座 ○東大史料編纂所協力講座 ○文学講座	・通年
県事業 平成27年度			

生涯学習 I 令和7年度施策概要

事業名	趣 旨	内 容	期日及び場所
生涯学習支援 システム推進事業 「まなびサポート 秋田」	県内の生涯学習情報（県関係 機関、市町村、社会教育関係団 体等、各種学校の主催）をWeb サイト上で提供する。	○講座、教室、講演会、イベ ント等の情報	・ 通年
県事業 平成21年度		○講座・講演会等の講師情報 ○ボランティア（個人・団体）、 グループ、サークルの情報	
あきた県庁 出前講座	県民の要請に応じて県職員が 講師を務め、県事業の説明や情 報提供等を通じて県政への理解 を深めていただくとともに、県 民の生涯にわたる多様な学習機 会の充実を図る。	○「あきた県庁出前講座」 講座メニューの発行	・ 講座メニューの発行 は4月
県事業 平成14年度		○実施状況及び利用者アンケ ートの取りまとめと報告	・ 講座実施は通年

(2) 豊かな人間性を育む教育活動の充実

①社会教育施設における自然体験活動や集団宿泊体験活動の充実

事業名	趣 旨	内 容	期日及び場所
ニューノーマルに対応した 体験活動構築事業	急速に変化する時代の中でも子どもたちの自然体験活動の機会を確保し、一層魅力的なものにするため、少年自然の家において安全・安心な利用環境と教育効果の高い自然体験活動プログラムを安定して提供できる体制を整える。また、子どもから大人まで多くの県民が集い、秋田の豊かな自然に触れながら共に学ぶ 地域や世代をつなぐ社会教育施設として、プログラム等の更なる充実を図る。	○提供体制の充実 ・国立青少年教育振興機構主催の研修会や関係機関の視察 ・各少年自然の家に「体験活動スマイルサポーター」（各1名）を配置 ・少年自然家等指導者研修の実施 ○プログラム等の充実 ・あきた体験活動プログラム集の活用促進 ・家族・一般向け事業の充実	・4～10月の間 ・4～10月（7か月） ・11月上旬、場所未定 ・通年 ・繁忙期を避けた時期
県事業 令和4年度			
教育施設等のセカンドスクールの利用の推進	学校等による教育施設等のセカンドスクールの利用を推進するため、各教育施設等における体験的な学習プログラムの開発と利用の促進を図る。	○体験的な学習プログラムの開発と提供 ・学習指導要領に対応した体験的な学習プログラムの開発と提供 ○学校等への周知・広報 ・協力施設における活動プログラムの把握と情報提供 ・「セカンドスクールの利用の手引き」の作成と周知、県ホームページへの掲載	・通年 ・手引きの発行は4月
(旧) あきたセカンド スクール推進事業 平成14年度			

②生涯を通じた読書活動を支援する環境の整備

事業名	趣 旨	内 容	期日及び場所
県立図書館による 学校図書館支援	司書職員が資料や専門的知識・技能を用いて、高等学校、特別支援学校の学校図書館の活性化を支援し、読書活動の推進を図る。	○展示や授業で活用できるセット資料の貸出し	・ 通年
県事業 平成19年度		○図書館業務に関する相談や問合せに対応 ○教職員や図書委員の生徒を対象にした研修会の開催	
つながり、広げる 子どもの読書応援 事業	子どもの発達段階に応じた読書活動を推進するとともに、読書を通じた多世代交流の機会を充実させ、子どもに読書の楽しさを伝える大人を増やし、生涯にわたって読書に親しむ子どもを育む。	○子どもと関わる大人に向けた読書の楽しさについての啓発と支援 ・あきた県庁出前講座 ・学校における読書活動活性化支援	・ 通年 ○ビブリオバトル、ポップバトル 地区大会7地区 10月～11月 秋田県大会 11/29（土） 秋田拠点センター アルヴェ ○みんなでビブリオスピーチワークショップ 3地区7～9月
県事業 令和4年度		○読書を通じた多世代交流の機会の充実 ・ビブリオバトル大会の開催（中学生・高校生） ・みんなでビブリオスピーチワークショップの開催（小学生） ・ポップバトルの開催（小学生）	
県立図書館による 地域の読書活動 推進支援	専門的知識・技能を有する司書職員が、市町村立図書館等に対して、運営や読書活動充実のための支援を行う。	○協力貸出による支援	・ 通年
県事業 継続		○様々な図書館サービスに関する情報提供及び助言 ○図書館関係職員等の知識や技能向上のための研修支援	

③地域全体で家庭教育を支える体制の整備

事業名	趣 旨	内 容	期日及び場所
“あい”で見守る！ あんしんネット 構築事業 県事業 令和4年度	社会全体で子どもたちをネット上の有害情報やSNS等によるトラブルから守り、子どもたちがインターネットを健全に利用できるよう、安全・安心な利用環境を整える。	○健全利用啓発事業 ・事業担当者を対象としたオンライン研修（年2回） ・低年齢化対応講座 ・あきた県庁出前講座 ○ネットパトロール事業 ・AIを生かした不適切投稿の調査及び定点観測 ・全校種（小・中・高・特）を対象とした検索作業の実施 ・ネットパトロールに係る検討会議（年2回） ・不適切な利用行動の緊急性や危険性に応じて、関係各課と連携して削除支援等を実施	・5月下旬、11月上旬 ・通年 ・通年 ・通年 ・通年 ・4月下旬、2月上旬 ・随時
学校・家庭・ 地域連携 総合推進事業 【家庭教育支援 チーム】 (H28～) 県事業 平成25年度	地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える地域学校協働本部を設置し、協働活動を始めとする地域学校協働活動を推進する。統括及び地域学校協働活動推進員等、関係者を対象とした研修会を実施する。保護者や地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールや公民館等との連携を促進し、地域学校協働本部と一体的に事業を実施するための組織づくりを進める。 【家庭教育支援チーム】 地域人材がチームで家庭教育に関する学習機会等の提供や相談活動を行い、地域全体で家庭教育を支える取組や体制づくりを支援する。	【学校と家庭をつなぐ地域人材の育成】 [県の取組] ○連携協議会の開催 ○総合推進事業関係者研修、家庭教育支援指導者等研修の開催 【地域学校協働本部の設置】 [市町村の取組] ○家庭教育支援チーム補助金活用市町村8市町村15チーム	○連携協議会 ・全県開催 ① 5/30（金） ② 1/30（金） ○地域学校協働活動推進員、地域連携担当教職員等研修会 ①全県開催 6/18（水） ②各地区開催 ・県北地区 8/7（木） ・中央地区 8/1（金） ・県南地区 11/21（金） ○家庭教育支援指導者等研修会 ① 5/29（木） ② 7/10（木） ③ 9/25（木） ④ 11/20（木）

(3) 良質な文化芸術に親しむ機会の充実

①学校や地域における文化芸術体験活動の充実

事業名	趣 旨	内 容	期日及び場所
秋田県 青少年劇場	児童生徒に、優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供することにより、豊かな感受性を育み、情操の涵養（かんよう）を図るとともに、健全な成長に資する。	○児童生徒に対する優れた舞台芸術鑑賞機会の提供 ・小公演 「リコーダーとともに」 ・演劇公演 「シュレミールと小さな潜水艦」	○小公演 7/1(火)～4(金) 小・中・高・特別支援学校 ○演劇公演 9/29(月)～ 10/3(金) 小・中・特別支援学校
県事業 昭和52年度			
舞台芸術等総合支援事業 【学校巡回公演】	トップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行うことを通じて、将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的とする。	○文化芸術団体によるワークショップ 本公演、メインプログラムをより効果的なものとするためのワークショップ [音楽、演劇、舞踊、伝統芸能分野] [メディア芸術分野] ○優れた実演芸術の公演・メディア芸術の体験（本公演、メインプログラム）	・通年 小・中・特別支援学校
国事業（独法） 令和6年度			
学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業 【芸術家の派遣事業】	個人又は少人数の芸術家を派遣し、講話・実技披露・実技指導を実施することにより、子供たちの豊かな創造力・想像力・思考力・コミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家や観客層の育成や優れた文化芸術の創造に資する。	○個人の芸術家や小規模な芸術家グループによる講話やワークショップ及び実技披露 [派遣分野] 音楽、演劇、舞踊、大衆芸能、美術、伝統芸能、文学、生活文化、メディア芸術	・通年 小・中・高・特別支援学校
国事業 平成26年度			
伝統文化親子教室事業 ①教室実施型 ②地域展開型 ③統括実施型	次代を担う子どもたちが親とともに、伝統文化、生活文化及び国民娯楽に関する活動を計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供する取組に対して支援を行う。	①民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、華道、茶道、食文化、囲碁、将棋などの伝統文化等の振興を目的とする団体への支援 ②伝統文化等を振興する自治体が地域の文化を掘り起こし、集中的に体験できる多様な機会を創出することへの支援 ③同一分野で、原則、都道府県をまたぎ、概ね5団体以上で構成される団体への支援	・通年 小学校1年生～ 中学校3年生
国事業 ①平成26年度 ②平成30年度 ③令和3年度			

②博物館・美術館における展示・普及事業の推進

事業名	趣 旨	内 容	期日及び場所
博物館・美術館の 展示事業	博物館・美術館の所蔵品を中心に展示の充実を図るとともに、広く情報を発信することにより、ふるさとの文化芸術に対する愛着心の醸成と理解の促進に資する。	○美術館 常設展、企画展 ○近代美術館 企画展、コレクション展 出前美術展等 ○博物館 企画展、企画コーナー展、 可変展示、連携展示 ○農業科学館 特別展、公募企画展、 教育機関紹介展	・ 通年 ・ 美術館 ・ 近代美術館 ・ 博物館 ・ 農業科学館
博物館・美術館の 教育普及事業	幅広い世代を対象とした博物館・美術館教室等のプログラムの充実を図り、県民の文化芸術に対する興味・関心の高まりと理解の促進に資する。	○美術館 美術館教室・ワークショップ・館長講話ほか ○近代美術館 「キンビ・創作体験プログラム」・特任館長講座ほか ○博物館 博物館教室・ミュージアムコンサートほか ○農業科学館 「サン・アグリンゼミナール」「食・農体験」ほか	・ 通年 ・ 美術館 ・ 近代美術館 ・ 博物館 ・ 農業科学館

③全ての人に開かれた美術館・博物館づくりの推進

事業名	趣 旨	内 容	期日及び場所
あきたMuseum 機能強化事業	全ての人に開かれた社会教育施設・文化施設としてのミュージアムを目指し、博物館同士や地域の多様な主体との連携により、特別展のさらなる充実、デジタル技術を活用した新たな鑑賞・体験の機会創出、障害者の生涯学習、展示手法のバリアフリー化等、これからの博物館に求められる課題に対応するための機能強化に取り組み、文化観光振興・にぎわい創出を図っていく。	(1) Museum特別展充実事業 県立4博物館施設による特別展の充実を図り、良質な文化芸術の発信、多様なニーズへの対応、社会包摂・DX推進、にぎわい創出等に寄与する。 ※各機関の事業概要を参照 (2) Museumネットワーク形成事業 ①「みんなのMuseum」プロジェクト 博物館同士や地域の多様な主体と協働し、障害者の生涯学習振興や地域課題への対応などに取り組み、全ての人に開かれたMuseumの体現化を目指す。 ②博物館ネットワーク促進事業 博物館同士のネットワーク形成促進とともに、法改正に伴う博物館再登録の計画実施、新規登録の促進を図る。 (3) MuseumDX推進事業 ①メタバース×Museumあきた拡充事業 仮想近代美術館「メタバース×キンビ」による鑑賞プログラムの充実とアクセシビリティの向上を図る。 ②デジタルアーカイブ構築事業 全県の博物館等施設が参加可能なデジタルアーカイブの構築に向けた取組を進める。	(1) ・4月～2月 ・美術館 ・近代美術館 ・博物館 ・農業科学館 (2) ① ・通年 ・近代美術館（中核） ・美術館（連携） ・博物館（連携） ・農業科学館（連携） ② ・あきたMuseum機能強化ネットワーク会議の開催（5月） ・登録の相談は随時 (3) ① ・通年 ・近代美術館 ② ・文化庁補助事業の採択決定後（6月～3月）
県事業 令和6年度			

4 生涯学習・社会教育機関の重点目標と事業概要

(1) 秋田県立図書館

郵便番号	010-0952
所在地	秋田県秋田市山王新町14-31
電話番号	018-866-8400
FAX番号	018-866-6200
ホームページURL	https://www.apl.pref.akita.jp/
メールアドレス	apl@mail2.pref.akita.jp
設置年月日	明治32年4月14日（平成5年11月2日現在地に新館落成）
延床面積	12,445.73㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上4階
職員数	41名（常勤27名、非常勤14名）
休館日	水曜日（ただし、休日等の場合は、その次の平日）、 年末年始、蔵書点検に伴う休館
令和6年度の開館日数	295日

利用状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入館者・利用者数（人）	262,998	316,745	335,118	335,570	336,701
貸出冊数	371,333	397,849	384,048	370,361	365,981
レファレンスサービス件数	19,121	20,788	16,930	14,131	15,412
図書館等貸出冊数	22,462	21,668	19,389	20,843	21,027
学校貸出冊数	19,539	25,480	19,615	19,752	18,871
蔵書冊数	961,642	984,858	1,004,718	1,024,064	1,042,026
セカンドスクールの利用校数	6	6	13	12	11
セカンドスクールの利用人数	79	74	140	79	103

令和7年度重点目標

- ・ 県民の生活、仕事、文化等を支援するサービスの充実
- ・ 市町村立図書館等の活性化
- ・ 学校図書館への支援充実
- ・ 第3次秋田県読書活動推進基本計画の実施
- ・ 資料や情報の充実
- ・ デジタルアーカイブの充実
- ・ 行政機関、関係団体、民間企業、県内大学等との連携促進
- ・ 県立図書館職員の育成
- ・ 広報の充実
- ・ あきた文学資料館の充実

令和7年度事業

事業名	趣旨と内容	対象	期日及び場所
特別展示	県内外の文化・芸術資料を県民に公開し学びの場を提供	一般	4／11（金）～5／20（火） 特別展示室
県事業 平成5年度	稲穂の詩～秋田と米づくり～ 県立博物館との連携展示		
特別展示	県内外の文化・芸術資料を県民に公開し学びの場を提供	一般	5月下旬～6月下旬 特別展示室
県事業 平成5年度	県立図書館の所蔵資料を展示		
特別展示	県内外の文化・芸術資料を県民に公開し学びの場を提供	一般	7月中旬～8月中旬 特別展示室
県事業 平成5年度	県埋蔵文化財センターとの連携展示①		
特別展示	県内外の文化・芸術資料を県民に公開し学びの場を提供	一般	12月中旬～1月下旬 特別展示室
県事業 平成5年度	県立近代美術館との連携展示		
特別展示	県内外の文化・芸術資料を県民に公開し学びの場を提供	一般	2月上旬～下旬 特別展示室
県事業 平成5年度	「第51回秋田県芸術選奨受賞記念展」 県文化振興課との連携展示		
特別展示	県内外の文化・芸術資料を県民に公開し学びの場を提供	一般	3月上旬～中旬 特別展示室
県事業 平成5年度	県埋蔵文化財センターとの連携展示②		
テーマ展示	行事や季節等についてタイムリーなテーマを決め資料を紹介	一般	6回実施 閲覧室
県事業 平成14年度	読書推進・地域課題等		
県民読書の日 関連事業	県民が県立図書館の豊富な資料を通して読書に親しむ機会を提供	一般	11／1（土） 多目的ホール
県事業	書庫見学や講演等を実施		
図書館 セミナー	生涯学習の一環として、秋田に関わる様々な事柄について講演や資料から学ぶ機会を提供	一般	期日未定 多目的ホール
県事業 平成6年度	文化・芸術・ビジネス等の専門家を招いてセミナーを実施		

生涯学習 I 令和7年度施策概要

事業名	趣旨と内容	対象	期日及び場所
秋田県金融広報委員会連携セミナー	生涯学習の一環として、様々な分野について講演により学ぶ機会を提供	一般	期日未定
県事業 平成22年度	年金、消費者問題等に関するセミナーを実施		多目的ホール
秋田大学医学部附属病院連携セミナー	生涯学習の一環として、様々な分野について講演により学ぶ機会を提供	一般	期日未定
県事業 平成30年度	医療、健康等に関するセミナーを実施		多目的ホール
秋田県図書館長会議	図書館施策や県内公立図書館・図書室の事業等に関する情報交換の場を提供	県内図書館職員等	5/28(水)
県事業 平成5年度	秋田県図書館協会と共催		多目的ホール・オンライン
北日本図書館大会(兼)秋田県図書館大会	北海道・東北の公立図書館・図書室の利用促進に関する研修会	北海道・東北地区図書館職員等	6/18(水)
県事業 平成5年度	秋田県図書館協会と共催		にぎわい交流館AU 多目的ホール
市町村立図書館・公民館図書室職員等初任者研修会	県内公立図書館・図書室の新規採用職員の実務研修会	県内図書館職員等	7/9(水) 8/20(水)
県事業 平成5年度	秋田県図書館協会と共催		多目的ホール・オンライン
市町村立図書館・公民館図書室職員研修会	県内公立図書館・図書室の職員の実務能力の向上を図る研修会	県内図書館職員等	9/17(水)
県事業 平成14年度	秋田県図書館協会と共催		多目的ホール・オンライン
ライブラリー＋1(one)研修	県内公立図書館・図書室の職員の実務能力の向上を図る研修会	県内図書館職員等	期日・回数未定
県事業 平成25年度	講義や情報交換		多目的ホール・オンライン
学校図書館職員等研修会	県内高等学校及び特別支援学校での読書活動や図書館、図書委員会活動の活性化を図る研修会	学校図書館教職員・生徒等	7/30(水)
県事業 平成19年度	講義や情報交換		多目的ホール・オンライン
おはなしタイム	読み聞かせを通して、子どもが本に親しむ機会を提供	乳幼児～小学生とその保護者	毎月第1、3日曜日
県事業 平成19年度	子どもの読書活動の推進等		えほんのへや

(2) 秋田県立図書館あきた文学資料館

郵便番号	010-0001
所在地	秋田県秋田市中通六丁目6-10
電話番号	018-884-7760
FAX番号	018-884-7761
ホームページURL	https://www.apl.pref.akita.jp/literature-center
メールアドレス	bungaku@apl.pref.akita.jp
設置年月日	平成18年4月28日
延床面積	862.42㎡
構造	鉄筋コンクリート2階建
職員数	5名（うち非常勤職員4名）
休館日	月曜・年末年始・特別整理期間
令和6年度の開館日数	302日

利用状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入館者・利用者数（人）	2,912	3,067	3,372	3,467	4,159
講座室利用件数	227	278	274	267	278
レファレンスサービス件数	103	102	48	49	25
蔵書冊数	84,758	85,800	89,189	91,155	92,589
ボランティア活動人数	0	0	0	0	0
セカンドスクールの利用校数	1	2	2	2	3
セカンドスクールの利用人数	18	19	12	7	27

令和7年度重点目標

- ・秋田に関係する文学資料の収集・整理を行う。
- ・収蔵資料の公開を行う。
- ・秋田の文学に関する情報センター機能をもつ。
- ・教育的機能を強化し、学校・社会教育機関との連携を図る。
- ・広報活動を行う。

令和7年度事業

事業名	趣旨と内容	対象	期日及び場所
新収蔵資料展	新たに寄贈された資料の紹介	一般 学生 生徒等	I 3/15（土）～5/11（日） II 6/1（日）～7/31（木） 展示室
県事業 平成18年度	I 「菓子哀鹿旧蔵資料展 昭和前期横手の俳句界」 II 「小笠原洋々旧蔵資料展—小笠原洋々の時代」		
特別展示	館及び県内文学館等の収蔵資料の紹介	一般 学生 生徒等	9/3（水）～10/31（金）
県事業 平成18年度	「没後40年 斎藤隆介展」（仮）		展示室
文学講座	秋田の文学者の業績の紹介	一般 学生 生徒等	5回
県事業 平成18年度	特別展示と連動した内容		講座室

(3) 秋田県青少年交流センター

郵便番号	011-0905
所在地	秋田県秋田市寺内神屋敷3-1
電話番号	018-880-2303
FAX番号	018-847-6350
ホームページURL	https://youthpal-akita.com
メールアドレス	youthpal@tkcnet.ne.jp
設置年月日	平成11年4月1日
延床面積	8,453㎡
構造	鉄筋コンクリート4階建
職員数	8名（常勤7名、非常勤1名）
休所日	年末年始
令和6年度の開館日数	245日（令和6年11月1日から2月28日まで休館）

利用状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入館者・利用者数	12,382			40,957	20,420
利用団体数	814			2,070	740
セカンドスクールの利用校数	3			15	14
セカンドスクールの利用人数	200			1,154	1,334
宿泊者数	1,324			10,846	4,755

*R2年度は9月までの統計

令和7年度重点目標

- ・施設の効率的な運営と事故防止
- ・県内小学生を対象とした英語による体験活動の提供
- ・セカンドスクールの利用における活動プログラムの充実
- ・施設の利用促進のための情報発信の充実
- ・職員のスキルアップ

令和7年度事業

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
高校生徒会 ネットワーク 会議	県内高等学校の生徒会役員を対象に、充実した生徒会活動を推進するための情報交換の機会を提供することで、生徒会ネットワークの形成を図ります。	高校生徒 会役員	5/16（金）～17（土） 青少年交流センター
自 主 事 業 平成16年度			
高校生 ニューリーダー セミナー	様々な分野の高校生リーダーが集い、充実した活動を推進するための研修と情報交換を行い、リーダーとして必要な資質の向上を目指します。	高校1、 2年生の リーダー	2/13（金）～14（土） 青少年交流センター
自 主 事 業 平成20年度			
イングリッシュ キッズ プロジェクト	英語を使った活動、体験する機会を提供し、英語をより身近に感じ、自らコミュニケーションをとる積極性を育みます。	県内小学 校（中央 地区）6 年生	7/31（木）～8/2（土） 青少年交流センター
自 主 事 業 平成26年度			
なまはげ きゃんぷ	人付き合いが得意ではないが、様々な能力や可能性を秘めた若者（青少年）に、活動体験を通して社会参加を目指すきっかけを提供し自立を支援します。	対人関係 の苦手な 青少年	10/18（土）～19（日） 青少年交流センター 他
自 主 事 業 平成18年度			
セカンド スクールの 利用の受入	児童生徒の学校外教育活動について、会場やプログラムを提供します。	小学校、 中学校、 高等学校 他	通年 青少年交流センター
自 主 事 業 平成11年度			
防災 スキルアップ 事業	防災に対する意識を高めるために、体験を交えた資質向上プログラムを提供します。	高校生、 大学生、 青少年団 体	11/29（土）～30（日） 青少年交流センター 他
自 主 事 業 令和5年度			

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
ユース ボランティア 認定事業	ユースパル主催事業へボランティアとして 参加した人にボランティア活動の認定を行います。	高校生、 大学生、 一般	通年
自 主 事 業 平成22年度	・ボランティア活動の認定 ・認定証の発行		
SDGs ステップアップ 事業	SDGsについて理解を深めるとともに、 これからの将来を担う若者が積極的な取り組 みを考えるきっかけとなる機会を提供しま す。	青（少） 年団体、 高校生、 大学生、 勤労青年 等	9/27（土） 青少年交流センター
自 主 事 業 令和5年度	・講義 ・演習 ・ワークショップ		
青少年 国際交流	海外の人との交流を通じて、相互の文化や 歴史を学ぶとともに、コミュニケーション能 力を高め、国際感覚を身につけた青少年の育 成を図ります。	県内高等 学校、県 内高校生	通年 青少年交流センター 他
自 主 事 業 平成23年度	・講義 ・ワークショップ ・県内在住の海外の人との交流 ・相互交流を実施している県内高等学校への 交流場所の提供等による支援 ・次年度以降の相互交流先の模索		
ゆうスペース 支援事業	青少年の居場所「ゆうスペース」の活動に ついて支援します。	対人関係 の苦手な 青少年	通年 青少年交流センター
自 主 事 業 平成19年度	・居場所の提供 ・ボランティア団体が実施する相談活動や 年間行事を実施する際の支援		

(4) 秋田県生涯学習センター

郵便番号	010-0955
所在地	秋田県秋田市山王中島町1-1
電話番号	018-865-1171
FAX番号	018-824-1799
ホームページURL	https://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/
メールアドレス	sgcen002@mail2.pref.akita.jp
設置年月日	昭和55年4月1日
延床面積	6,299.6㎡
構造	鉄筋コンクリート造、地下1階、地上5階、塔屋2階
職員数	19名（常勤13名、非常勤7名）
休業日	月曜日（休日に当たる場合はその翌日）・年末年始
令和6年度の開館日数	307日

利用状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
年間利用者数	48,872	50,538	60,464	69,775	62,634
貸館利用者数	15,375	18,822	23,826	31,638	28,557
貸館利用件数	1,012	1,245	1,338	1,396	1,277
「まなびサポート秋田」アクセス数	19,512	29,606	47,670	79,678	161,151
セカンドスクールの利用校数	－	1	3	0	2
セカンドスクールの利用人数	－	21	75	0	93

令和7年度重点目標

- ・「障害者の生涯学習」に関する調査研究の推進
- ・「持続可能な地域づくり」を目指す研修・支援の推進
- ・県民の生涯学習機会と学習情報発信の充実
- ・利用者の安全と利便性向上を目指した施設の提供

令和7年度事業

事業名	趣旨と内容	対象	期日及び場所
調査研究事業	本県生涯学習・社会教育の現状や課題を把握するために必要な調査研究を行い、シンクタンク機能の充実を図るとともに、その成果を今後の施策等に反映させる。	関係機関・団体、市町村教育委員会等	4月～3月
県事業 昭和55年度	「障害者の生涯学習」に関する調査研究（7年次）、社会教育状況調査の実施		生涯学習センター
生涯学習・社会教育関係職員研修	生涯学習・社会教育行政の充実を図るため、障害者の生涯学習支援、防災、地域学校協働活動及び学校運営協議会制度等の課題に迫る研修を実施し、関係者の資質向上を目指す。	市町村主管課職員、公民館等関係施設職員、社会教育委員、生涯学習奨励員、県関係職員、学校関係者ほか	5月～11月
県事業 昭和46年度	新任職員等基礎研修、市町村・公民館職員等専門研修、家庭教育支援指導者等研修、地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会、秋田県生涯学習・社会教育研究大会		生涯学習センター
自作視聴覚教材コンクール	学習者の実態に応じた教材や地域に根ざした学習のための教材等、学びの多様化に対応した視聴覚教材の自作と活用を推進し、視聴覚教育の充実を図る。	一般	2月
県事業 昭和26年度	秋田県自作視聴覚教材コンクール		生涯学習センター
あきたスマートカレッジ事業	県民が秋田の良さや現代的課題・地域課題を知り、地域理解と社会参加を促進する学習機会を提供し、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の構築を目指す。	一般	通年
県事業 平成27年度	地域の取組学び講座、熟議ファシリテーター講座、障害者の生涯学習講座、防災講座、東大史料編纂所協力講座、文学講座の実施		生涯学習センター
生涯学習支援システム推進事業	県内の生涯学習情報（県関係機関、市町村、社会教育関係団体等、各種学校の主催）をWebサイト上で提供する。	一般	通年
県事業 平成21年度	生涯学習支援システム「まなびサポート秋田」の運営、市町村職員等への研修会の実施		生涯学習センター
展示スペースの活用	展示スペースを生涯学習の成果の発表の場とし、県民の学習活動の充実を図る。	一般	通年
自主事業 平成17年度	エントランスホールでの展示		生涯学習センター

(5) 秋田県立大館少年自然の家

郵便番号	017-0023
所在地	秋田県大館市東字岩神沢31
電話番号	0186-43-3174
FAX番号	0186-43-3175
ホームページURL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/oodate-sizen
メールアドレス	one-park@pref.akita.lg.jp
設置年月日	昭和49年4月1日
延床面積	3,244.61㎡
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
職員数	13名（常勤7名、会計年度任用職員6名）
休所日	月曜日（11月から翌年2月まで冬期休所）
令和6年度の開館日数	210日

利用状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入館者・利用者数	11,798	12,163	14,848	15,539	15,042
利用団体数	386	467	521	548	550
セカンドスクールの利用校数	141	152	151	161	162
セカンドスクールの利用人数	7,945	7,456	8,591	8,797	7,801
宿泊者数	509	1,937	2,436	2,011	2,019

利用日数別実績

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
日帰り	利用団体数	376	432	475	505
	利用者数	11,289	10,226	12,412	13,528
1泊	利用団体数	10	35	46	42
	宿泊者数	509	1,937	2,436	1,971
2泊	利用団体数	0	0	0	1
	宿泊者数	0	0	0	40
3泊以上	利用団体数	0	0	0	0
	宿泊者数	0	0	0	1

令和7年度重点目標

- ・安全・安心な環境とサービスの提供
- ・「生きる力」を育む体験プログラムの開発と集団宿泊活動の推進
- ・連携、協働による活動の充実
- ・セカンドスクールの利用に応じた支援
- ・魅力ある主催事業の実施
- ・ニーズに即した出前講座の実施
- ・実践と憩いの場の提供
- ・積極的な情報発信とPR活動

令和7年度事業

【少年向け事業】

事業名	趣旨と内容	対象	期日及び場所
アウトドア スクール	学校や地域を超えて出会う仲間と交流を深めることで、協調性を養う。また、野外活動等を通して、自然のよさや大切さに触れ、自ら判断して行動できる力を養う。	年長～ 小3	① 5/24 (土) ② 7/12 (土) ③ 8/30 (土)～31 (日) ④ 10/11 (土) 大館少年自然の家周辺
主催事業 平成23年度	・交流ゲーム ・ナンバーウォーク ・散策 ・川遊び ・野外昼食 ・自炊 ・テント泊 ・登山 (秋葉山、鳳凰山)		
夏のアドベン チャー	野外活動や集団生活を通して、困難に負けない強い心を育みながら、仲間との交流を深める。	小4～ 中学生	8/2 (土)～4 (月) 大館少年自然の家周辺 県内外のキャンプ場 (未定)
主催事業 平成7年度	・テント泊 ・登山 ・ハイキング ・川遊び ・カヌー体験 ・野外炊事		
ふれあいわん デーキャンプ	豊かな自然環境や社会教育施設の機能を生かした体験プログラム等の活動を通して、自己選択と自己決定しながら、周囲とのコミュニケーションについて学んだり、達成感や成功体験を得たりすることで自己肯定感を醸成する。	県北地区 の不登校 等の児童 生徒とそ の保護者 及び各学 校や教育 支援セン ター、フ リース クール等 の担当者	9/12 (金) 大館少年自然の家周辺
主催事業 平成31年度	・カヌー、川遊び ・ポリ袋調理 ・ソロテント設営 ・交流ゲーム		
宿泊通学学級	家族と離れた集団宿泊生活を通して、家族への感謝の気持ちを醸成するとともに、自分のことは自分でするという自主性を養う。 新しい友達との集団宿泊生活の中で、困難なことを共に乗り越える体験を通して仲間と過ごすことの価値に気付く。	小4～ 小6	9/15 (月・祝)～18 (木) 大館少年自然の家
主催事業 平成24年度	・交流ゲーム ・学習 ・食事 ・入浴 ・洗濯 ・宿泊		
スキースクール	技能レベルに応じたスキーの技能向上を図るとともに、スキー場でのルールやマナーを守り、安全に気を付けて滑ろうとする態度を身に付ける。	小3～ 小6	① 1/6 (火) ② 1/7 (水) ③ 1/9 (金) 花輪スキー場
主催事業 昭和50年度	・学年や技能レベルに応じたグループ別 スキー研修		
冬のわんパーク スクール	冬にしかできない野外活動を通して、雪国ならではの遊びの楽しさを体験する。	小1～ 小3	2/14 (土) 大館少年自然の家周辺 (予定)
主催事業 平成26年度	・スノーシュー体験 ・そり遊び ・雪遊び等		

【家族・一般向け事業】

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
オカリナ 音楽祭	オカリナ等の楽器による演奏会を通して、人々の交流を図るとともに、音楽への興味・関心をさらに高める。	小学生～ 一般	春 4/19（土） 秋 9/20（土） 大館少年自然の家
主催事業 平成12年度	・募集团体による演奏会		
鳳凰山登山	登山を通して、自然への興味・関心を高め、初めて出会う人たちのとの交流や家族・親子の絆を深める。	家族、 一般	春 4/26（土） 冬 2/28（土） 大館市 鳳凰山
主催事業 平成31年度	・鳳凰山登山 ・植物観察等（春） ・動物の足跡探し（冬）		
ハイキング 旅行	会員が互いに親睦・交流を深めながら、日頃の頑張りに対する達成感や新たな学びを得る。	自然の家 ハイキン グ倶楽部 の会員	① 6/17（火） 岩手県八幡平市 ② 10/22（水） 仙北市田沢湖
主催事業 平成22年度	・ハイキング ・自然観察 ・体験活動		
わくわく！ワン ぱくデー	初心者でも気軽に参加できる野外活動を通じて、アウトドアアクティビティの楽しさを味わう。	小学生～ 家族、一 般	8/22（金）～23（土） 大館少年自然の家周辺
主催事業 令和6年度	・テント設営 ・キャンプファイヤー ・川遊び、カヌー体験 ・バーベキュー		
大文字と花火 鑑賞ナイト	大文字焼きと花火の鑑賞を通して、郷土の行事への興味・関心を高め、ふるさとを愛する心を養う。	子どもと その家族	8/11（月・祝） 大館少年自然の家
主催事業 昭和50年度	・大文字焼きと花火の鑑賞 ・無料体験		
冬の野鳥観察会	冬の渡り鳥を観察し、大館に様々な野鳥が生息していることに気付くことにより、ふるさとの自然への関心を高める。 講師（大館自然の会）の説明を聞きながら観察することで、野鳥や、野鳥と自然環境との関連についての知識を深める。	家族、 一般	11/29（土） 大館市近郊の野鳥観察スポット（岩神貯水池や長木川、米代川流域等）
主催事業 平成23年度	・野鳥観察 ・野鳥クイズ		
スターウォッチ ング	天体や星についての講話、天体観望を通して、天体や星についての知識を深めるとともに、宇宙や自然への興味・関心を高める。	家族、 一般	12/12（金） 比内公民館とその周辺
主催事業 平成17年度	・星空講座 ・天体望遠鏡等での星空観察		

【オープンデー事業】

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
わんパーク 大館まつり わんパーク フェス	自然の家のプログラム無料体験や主催事業の紹介を通して、自然の家の活動内容を知り、本施設に親しみをもつ。	家族、 一般	まつり 5/3（土・祝）
主催事業 平成15年度			まつり 大館少年自然の家 フェス 10/25（土）、26（日） フェス ニプロハチ公ドーム

【研修・その他】

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
幼保推進課 新規採用者研修	あきたアドベンチャープログラムを体験し、その手法を学ぶ。	幼稚園・ 保育所・ 認定こども園等 新規採用者	5/20（火）
連 携 事 業	・あきたアドベンチャープログラムの体験		大館少年自然の家
北教育事務所 初任者研修	野外炊事やあきたアドベンチャープログラムの研修を通して、集団作りの手法を学ぶ。	北教育事務所管内 小中学校 初任者	7/23（水）
連 携 事 業	・あきたアドベンチャープログラムの理論と体験 ・野外炊事		大館少年自然の家
教職員向け スキー研修	参加者のニーズや技能レベルに応じたスキーの技能向上を図るとともに、授業に生かせる具体的な指導や言葉掛け等を習得する。また、参加者間の交流を深める。	県北地区 の小・中 学校・義務教育 学校、特別 支援学校 に在職する 教員	12/26（金）
主催事業 平成28年度	・技能レベルに応じたグループ別スキー研修		秋田八幡平スキー場

(6) 秋田県立保呂羽山少年自然の家

郵便番号	013-0561
所在地	秋田県横手市大森町八沢木字大木屋73
電話番号	0182-26-6011
FAX番号	0182-26-6012
ホームページURL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/horowa-sizen
メールアドレス	horowanpark@pref.akita.lg.jp
設置年月日	昭和53年4月1日
延床面積	3,332.69㎡
構造	鉄筋コンクリート造 2階建
職員数	14名（常勤8名、非常勤6名）
休所日	月曜日（11月から翌年2月まで冬期休所）
令和6年度の開館日数	209日

利用状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入館者・利用者数	7,632	8,929	9,731	10,993	10,404
利用団体数	175	177	175	181	174
セカンドスクールの利用校数	144	128	126	138	126
セカンドスクールの利用人数	6,809	8,127	8,643	9,573	7,744
宿泊者数	720	1,810	2,438	4,112	3,484

利用日数別実績

年度		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
日帰り	利用団体数	160	148	140	127	133
	利用者数（人）	6,912	7,119	7,292	6,881	6,920
1泊	利用団体数	15	28	34	53	41
	宿泊者数（人）	720	1,762	2,397	4,076	3,484
2泊	利用団体数	0	1	1	1	0
	宿泊者数（人）	0	48	42	36	0
3泊以上	利用団体数	0	0	0	0	0
	宿泊者数（人）	0	0	0	0	0

令和7年度重点目標

- ・セカンドスクールの利用に対応するプログラムの一層の周知と支援の充実
- ・利用者の身体的、精神的な安心・安全を担保するリスクマネジメントの徹底
- ・幅広い年齢層を対象とした豊かな自然体験・感動体験ができるプログラムの提供
- ・地域、民間団体及び関係機関との連携強化
- ・事業のねらいを明確にし、施設の魅力や利用者のニーズに沿った主催事業の企画・運営

令和7年度事業

【小学生・中学生向け事業】

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
アウトドア・チャレンジ	夏の保呂羽山周辺で色々な野外活動にチャレンジする。	小1～小6	7/20（日） 保呂羽山少年自然の家他
主 催 事 業 平成23年度	・化石見学や野外遊び ・簡単おやつ作り等		
チャレンジキャンプ inほろわ	2泊3日の日程で、テント泊や田沢湖でのカヌー活動等にチャレンジする。	小4～中3	8/1（金）～3（日） 保呂羽山少年自然の家他
主 催 事 業 平成21年度	・テント泊 ・カヌー活動 ・ナイトハイク等		
エンジョイキャンプ	秋の保呂羽山周辺で色々な野外活動を楽しむ。	小1～小3	9/27（土）～28（日） 保呂羽山少年自然の家
主 催 事 業 平成14年度	・秋の草花の観察 ・テント設営 ・野外炊飯		

【家族・グループ向け事業】

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
大人のアウトドア塾Ⅰ	春の保呂羽の自然に触れたり、自然物を採取したりして楽しむ。	大人及び大人を含む家族・グループ	5/24（土） 保呂羽山少年自然の家
主 催 事 業 令和6年度	・春の野遊び ・アウトドアクッキング		
エンジョイカヌーⅠ	カヌーの基本操作を習い、カヌーを通して親子やグループで水辺の活動を楽しむ。	大人を含む家族またはグループ、一般	8/9（土） Ⅰ：午前に実施 六沢堤（由利本荘市）
主 催 事 業 平成14年度	・基本操作練習 ・自由漕艇		
エンジョイカヌーⅡ	カヌーの基本操作を習い、カヌーを通して親子やグループで水辺の活動を楽しむ。	大人を含む家族またはグループ、一般	8/10（日） Ⅱ：午前に実施 六沢堤（由利本荘市）
主 催 事 業 平成14年度	・基本操作練習 ・自由漕艇		
大人のアウトドア塾Ⅱ	秋の自然に触れたりしながら、ハイキングを楽しむ。	大人及び大人を含む家族・グループ	10/4（土） 保呂羽山少年自然の家他
主 催 事 業 令和6年度	・自然観察 ・ハイキング等		

生涯学習 I 令和7年度施策概要

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
みんな森の芸術家	保呂羽の森で採取した松ぼっくりなどの自然素材でクリスマス飾りを作る。	幼児～一般	12/7（日）湯沢市 12/14（日）横手市 12/21（日）大仙市
主 催 事 業 平成24年度	・クリスマス工作		
雪ん子体験Ⅰ	かんじきやスノーシューを履いて雪の上を歩いたり、マシュマロ焼きをしたりして秋田の冬を楽しむ。	幼児～一般	1/10（土） 天下森スキー場
主 催 事 業 平成29年度	・かんじき等で雪上ウォーキング ・マシュマロ焼き		
雪ん子体験Ⅱ	そり遊びをしたり、エアボードを体験したりして秋田の冬を楽しむ。	幼児～一般	3月上旬 未定
主 催 事 業 平成24年度	・そり遊び ・エアボード		

【研修・その他】

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
幼保推進課 新規採用者研修	あきたアドベンチャープログラムやネイチャーゲーム等を体験し、その手法を学ぶ。	幼稚園・ 保育園 新規採用 者	5/14（水） 保呂羽山少年自然の家
連 携 事 業	・あきたアドベンチャープログラム ・ネイチャーゲーム		
南教育事務所 初任者研修	あきたアドベンチャープログラムや野外炊飯指導研修を通して、集団作りの手法を学ぶ。	南教育事 務所管内 小中学校 初任者	7/25（金） 保呂羽山少年自然の家
連 携 事 業	・あきたアドベンチャープログラムの体験 ・野外炊飯		

(7) 秋田県立岩城少年自然の家

郵便番号	018-1215
所在地	秋田県由利本荘市岩城赤平字長ヶ沢260-8
電話番号	0184-74-2011
FAX番号	0184-74-2012
ホームページURL	https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/15634
メールアドレス	iwaki-c@mail2.pref.akita.jp
設置年月日	昭和58年4月1日
延床面積	4,503.72㎡
構造	RC造
職員数	13名（常勤7名、非常勤6名）
休所日	月曜日・年末年始
令和6年度の開館日数	298日

利用状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入館者・利用者数	4,476	5,393	8,180	10,452	11,327
利用団体数	127	161	250	343	318
セカンドスクールの利用校数	37	57	39	71	60
セカンドスクールの利用人数	1,925	3,399	3,603	4,427	4,297
宿泊者数	1,127	2,479	4,716	4,245	4,518

利用日数別実績

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
日帰り	利用団体数	108	127	195	283
	利用者数（人）	3,349	2,914	3,464	6,207
1泊	利用団体数	19	34	50	53
	宿泊者数（人）	1,127	2,479	4,162	3,849
2泊	利用団体数	0	0	2	5
	宿泊者数（人）	0	0	136	324
3泊以上	利用団体数	0	0	3	2
	宿泊者数（人）	0	0	418	72

令和7年度重点目標

- ・活動のねらいに即した利用者ファーストの対応
- ・子どもから大人まで豊かな体験学習ができる主催事業の実施
- ・希望ニーズに沿い、迅速で臨機応変な対応による出前講座の実施
- ・学校等のねらいに即したセカンドスクールの利用プログラムの提供
- ・地域人材や関係機関・団体との共同プログラムの開発
- ・SPDCAサイクル機能の評価システムを活用した確実な振り返りと改善
- ・開所半世紀に向けた施設利用等の新たな方向性の提案と実践

令和7年度事業

【子どもわんぱく事業】

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
キッズ キャンプ	自然体験を中心とした様々な活動や参加者同士の交流を通して、人やもの・こととの関わりを深め、子どもたち（幼児から小学校下学年）の社会性の基盤を育む。 ・自然散策 ・ザリガニ釣り ・たき火体験 ・ワカメ収穫体験等	①年長～小3とその保護者 ②年中～小2とその保護者	①9/27(土) ②2/28(土) 岩城少年自然の家やその周辺、道川漁港
わんぱく キャンプ	自然体験を中心とした様々な活動や参加者との集団生活を通して、人やもの、自然に直接触れる機会をもち、子どもたち（小学校上学年から中学生）の自律性や協調性を育てる。 ・野外炊飯 ・テント設営 ・海遊び ・スケート ・そり遊び等	①小4～中学生 ②小3～中学生	①8/7(木)～9(土) ②1/8(木)～10(土) 岩城少年自然の家、道川海岸矢島スキー場、県立スケート場他

【親子ふれあい事業・生涯学習支援事業】

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
ファミリー キャンプ	季節ごとの自然の豊かさや魅力に触れながら、キャンプの楽しみ方を知るとともに、家族同士の交流を図る。 ・野外炊飯 ・自然散策 ・ザリガニ釣り ・テント泊 ・スノーシュー体験等	家族等のグループ	①5/10(土) ②11/8(土)～9(日) ③1/24(土) 岩城少年自然の家やその周辺、矢島スキー場
おとなの遠足	自然散策をしながら、季節ごとの自然の豊かさや魅力に触れ、生涯にわたって学び続ける意欲を高める。 ・トレッキング ・自然観察 ・スノーシュー体験等	県民全般 (主に成人)	①5/25(日) ②7/13(日) ③10/29(水) ④2/4(水) 県内の各地域（滝、山、湿原等）、鳥海山・飛島ジオパークのジオサイト

【施設開放事業】

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
オープンデー	自然の家の施設見学、利用相談、活動プログラムの体験を通して、どなたでも利用できる施設として、周知と利用促進を図る。 ・施設開放 ・創作活動 ・ザリガニ釣り等	どなたでも	通年 偶数月第3日曜日 岩城少年自然の家

【研修・その他】

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
幼保推進課 新規採用者研修 連 携 事 業	あきたアドベンチャープログラムを体験し、その手法を学ぶ。 ・あきたアドベンチャープログラム	幼稚園・ 保育所・ 認定子ども園新規採用者	① 5/21 (水) ② 5/27 (火) 岩城少年自然の家
高校教育課 特別支援教育課 初任者研修 連 携 事 業	あきたアドベンチャープログラムの研修を通して、仲間と交流を深めたり、集団作りの手法を学んだりする。 ・あきたアドベンチャープログラム等	高等学校・特別支援学校 初任者	7/24 (木)～25(金) 岩城少年自然の家
中央教育事務所 初任者研修 連 携 事 業	あきたアドベンチャープログラムの研修を通して、集団作りの手法を学ぶ。 ・あきたアドベンチャープログラムの理論と体験	中央教育事務所管内小中学校初任者	8/1 (金) 岩城少年自然の家
出前講座 (創作活動)	各機関、市町村、学校等の要請により、出向いて自然物工作等の創作活動を行い、自然の家の認知度向上及び利用促進につなげるとともに、地域等への貢献の機会とする。 ①木のおもちゃ館移動創作教室 ②自然素材で作る移動創作教室 由利本荘市、にかほ市、秋田市等 ③由利本荘市子吉川フェア移動創作教室 子吉川フェア実行委員会 ④岩城地域文化祭移動創作教室 由利本荘市教育委員会 ⑤科学フェスティバル移動創作教室 由利本荘市教育委員会	どなたでも	① 4/20 (日)、7/6 (日)、10/5 (日)、12/14 (日)、2/8 (日) ②10月以降 由利本荘市、にかほ市、秋田市の公民館・社会福祉協議会・学童保育等 ③ 7月上旬 アクアパル ④10月下旬 岩城地区体育館 ⑤11/15 (土) 由利本荘市総合体育館

(8) 秋田県立美術館

郵便番号	010-0001
所在地	秋田県秋田市中通1丁目4-2
電話番号	018-853-8686 / 018-833-5809
FAX番号	018-836-0877
ホームページURL	http://www.akita-museum-of-art.jp/
メールアドレス	akibi-h@cna.ne.jp
設置年月日	昭和42年5月5日（平成25年9月28日 移転開館）
延床面積	3746.66㎡
構造	R C造 地下1階地上3階建
職員数	14名（常勤5名、非常勤1名、臨時8名）
休館日	不定（展示替え、メンテナンス等による臨時休館あり）
令和6年度の開館日数	332日

利用状況

年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
入館者・利用者数	33,482	80,497	81,456	89,411	116,091
2階・3階展示室利用者数	15,815	35,441	35,832	53,482	46,304
うち有料入場者数	12,842	28,520	30,239	44,945	39,954
県民ギャラリー利用者数	13,188	49,719	30,905	27,672	50,663
セカンドスクールの利用校数	22	28	29	26	23
セカンドスクールの利用人数	784	1,294	1,110	1,041	705

令和7年度重点目標

- ・調査研究の成果を生かすとともに、来館者の幅広いニーズに対応した魅力的な展覧会を開催し、芸術鑑賞の喜びと感動を与える。
- ・美術館での鑑賞体験を中心とした、セカンドスクールの利用の充実を図る。
- ・県民ギャラリーの利用促進を図る。

令和7年度事業

事業名	趣旨と内容	対象	期日及び場所
あきたMuseum 機能強化事業	県民に魅力的で良質な展覧会を提供するとともに、観光需要に対応し、地域の活性化に寄与する。		3 F ギャラリー、1 F 県民ギャラリー、2 F 大壁画ギャラリー ※各展覧会ごとに異なる
(1) Museum 特別 展充実事業	・キボリノコンノ展 食べたい！木彫りアートの世界 ・ミネバネ！現代アート タグチアートコレクション	一般	4/12（土）～5/25（日） 7/19（土）～9/7（日）
県事業 令和6年度	・巨匠たちのパレット展		9/13（土）～11/9（日）
企画展	平野政吉コレクションを中心に、調査研究の成果を活かしたテーマで展覧会を開催する。 ・平野政吉コレクション 明治・大正の絵画 ・将棋駒の世界ー伝統工芸の美ー ・藤田嗣治×ファッション ・平野政吉のあつめた西洋絵画	一般	3 F ギャラリー 2 F 大壁画ギャラリー 4/12（土）～5/25（日） 5/30（金）～7/13（日） 休館日 6/11（水）～6/12（木） 11/15日（土）～1/18（日） 休館日 12/10（水）～12/11（木） 12/31（水）～1/2（金） 1/24（土）～4月中旬
常設展	平野政吉コレクションの中から、大壁画《秋田の行事》を含む藤田嗣治作品を紹介する。 ・平野政吉コレクションⅠ ・平野政吉コレクションⅡ ・平野政吉コレクションⅢ ・平野政吉コレクションⅣ ・平野政吉コレクションⅤ ・平野政吉コレクションⅥ	一般	2 F 大壁画ギャラリー 4/12（土）～5/25（日） 5/30（金）～7/13（日） 休館日 6/11（水）～6/12（木） 7/19（土）～9/7（日） 9/13（土）～11/9（日） 11/15日（土）～1/18（日） 休館日 12/10（水）～12/11（木） 12/31（水）～1/2（金） 1/24（土）～4月中旬
ギャラリー トーク	展覧会の内容や作品について、分かりやすく解説を行い、鑑賞者の関心や理解を高める。 ・学芸員による《秋田の行事》 定例ギャラリートーク ・特別展、企画展ギャラリートーク ・手話ギャラリートーク 講師：学芸員、手話通訳者	一般	3 F ギャラリー、1 F 県民ギャラリー、2 F 大壁画ギャラリー ※各展覧会ごとに異なる 毎月第1土曜日、竿燈期間 各展覧会毎に調整中 調整中

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
講演会等	講演会等をととして展覧会や美術作品等への理解を深める。 ・特別展「ミネバネ！現代アート タグチアートコレクション」関連講演会 講師：田口美和氏 （田口現代芸術基金 Executive Advisor） 講師：塩原将志氏 （アート・オフィス・シオバラ代表取締役） ・特別展「巨匠たちのパレット展」関連講演会 講師：未定	一般	1 F レクチャールームほか 7/19（土） 調整中
美術館教室等	展覧会のテーマや展示作品に関連した教室等を行い、美術への関心や理解を高める。 ・専門的美術講座 「館長講話 作品を語る（仮題）」 講師：渋谷重弘（県立美術館館長） ・美術館教室 「手話による作品解説」 講師：学芸員、手話通訳者	一般	1 F レクチャールームほか 6 月下旬（予定） 9 月（予定）
ワークショップ	創作の喜びや楽しさに触れる機会を提供し、美術館への親しみや関心を高める。 ・館長の絵手紙講座（仮題） 講師：渋谷重弘（県立美術館館長） ・将棋であそぼう（仮題） 講師：未定 ・わたしのパレット絵画（仮題） 講師：未定 ・artline関連ワークショップ（仮題） 講師：未定	小学生～一般	1 F レクチャールームほか 5 月下旬（予定） 6 月上旬（予定） 10 月（予定） 3 月（予定）
イベント	周辺商業施設や学校等との連携イベントを開催し、美術館への親しみや関心を高める。 ・ミュージアムコンサート（仮題） 出演：未定 ・なかいち関連イベント	幼児～一般	1 F レクチャールームほか 2 月（予定） 2 月上旬（予定）

(9) 秋田県立近代美術館

郵便番号	013-0064
所在地	秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62-46
電話番号	0182-33-8855
FAX番号	0182-33-8858
ホームページURL	https://akita-kinbi.jp/
メールアドレス	kindaibijutsukan@pref.akita.lg.jp
設置年月日	平成6年4月20日
延床面積	11,166.50㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階 PH1階
職員数	27名（常勤12名、非常勤15名）
休館日	12月30日～1月1日（年末年始）、1月22日～31日（メンテナンス）
令和6年度の開館日数	352日

利用状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入館者・利用者数	45,730	52,023	40,522	49,179	209,721
うち有料入館者数	18,804	19,835	14,073	16,115	162,535
セカンドスクールの利用校数	52	86	37	67	108
セカンドスクールの利用人数	1,726	2,673	828	2,349	3,553
ボランティア登録数	53	51	51	52	58

令和7年度重点目標

- ・仮想近代美術館「メタバース×キンビ」において各種事業を実践し、新たな鑑賞や体験の機会を提供し、新規利用者の開拓に取り組む。
- ・県立博物館施設との連携強化、地域の多様な主体との協働により、地域的・社会的課題に取り組み、文化観光の振興、地域の活力向上に資する。
- ・特別展やコレクション展など、魅力ある展覧会等を企画・開催し、良質な文化芸術の鑑賞機会の充実や賑わい創出を図る。
- ・社会教育施設としての基本的な役割・機能（収集・保存、調査研究、展示、教育普及等）の強化を図る。
- ・教育普及プログラムの改善を図り、セカンドスクールの利用や講座・教室等を一層充実させる。

令和7年度事業

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
あきたMuseum 機能強化事業	県民に魅力的で良質な展覧会を提供するとともに、観光需要に対応し、地域の活性化に寄与する。		
(1) Museum特別 展充実事業	・ 古代エジプト美術館展 ・ 杉山明博・60年の軌跡 発想のデザイン展 親子であそぼ・木の面白ワールド ・ 絵本作家 かがくいひろしの世界展	一般	4/26(土)～6/29(日) 6階展示室 4/26(土)～6/29(日) 5階展示室 7/5(土)～8/31(日) 5階展示室
県事業 令和6年度	・ みんなのキンビプロジェクト企画第3弾 「みんなのおまつり」		9/13(土)～11/9(日) 5階展示室
あきたMuseum 機能強化事業	「みんなのキンビ」プロジェクト 近代美術館を中核に、県立4博物館同士の連携や多様な主体との連携・協働により、地域課題に対応しながら、年齢や障害の有無等にかかわらず、美術を通じて多様な人々が出会い、ともに学び合う場を創出する。これにより、「障害者の生涯学習」の促進や地域のつながりづくり、地域活力の向上等に寄与する。	一般	4月～2月
(2) Museum ネットワーク 形成事業			
県事業 令和6年度	・ R6研究主題 「アート×社会包摂×Museum」		
企画展	所蔵作品により、特色あるテーマを持った展覧会を開催する。	一般	5階展示室
県事業 平成6年度	・ キンビ写真コレクション		11/22(土)～4/5(日)
コレクション展	秋田ゆかりの所蔵作品を3期に分けて展示替えし、無料で公開する。	一般	6階展示室
	・ コレクション展 第1期 「余白を愉しむ」 ・ コレクション展 第2期 「三浦明範」		7/10(木)～10/5(日) 10/9(木)～1/4(日)
県事業 平成6年度	・ コレクション展 第3期 「華と棘(ハナとトゲ)」		1/8(木)～4/12(日)
美術館教室 (キンビ・創作 体験プログラム)	実技、制作を中心とした教室の開催により、創作の喜びや楽しさを味わうとともに、美術館活動への理解や関心を高める。		1階実習室ほか
・ ワークショップ	・ きっずあーと「スタンプぺったんアート」 ・ きっずあーと 「いろ と かたち の ゆうえんち」	未就 学児	8/23(土) 1階実習室 1月頃を予定 1階実習室
	・ みんなの教室「木の工作教室」	小学生 以上～ 一般	7/26(土) 1階実習室
県事業 平成6年度	・ みんなの教室 「保呂羽山からのおくりもの」		11月～12月頃を予定 1階実習室

生涯学習 I 令和7年度施策概要

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
美術館教室 (キンビ・創作 体験プログラム) ・ ワークショップ	・美術館教室「日本画教室」 ・美術館教室「アクリル画教室」 ・美術館教室「和紙人形づくり教室」	中学生 以上～ 一般	5/17(土)、18(日) 1階実習室 10/18(土) 1階実習室 9月後半の土曜日を予定 1階実習室
県事業 平成6年度	・展覧会付帯のワークショップ	一般	4月～11月
ギャラリー トーク	展覧会に関連したゲストや、担当学芸主事 によるギャラリートーク、子ども向けのギャ ラリーツアーなどを行う。	児童 生徒 一般	5階展示室
県事業 平成6年度	・特別展 ギャラリートーク		会期中2～4回
ミュージアム コンサート	誰でも気軽に訪れることができ、親しみを 持ってもらえるよう、音楽イベントを開催す る。	一般	5階中央ホール
県事業 平成6年度	・トリオ・ドルチェミュージアムコンサート		8月頃を予定
美術館講座	美術の鑑賞と理解を深めるために講座を実 施する。	一般	6階研修室
県事業 平成6年度	・特任館長講座「江戸時代の美術と文化Ⅳ」		5月～12月(全8回)
ふれんどリー ギャラリー 活用事業	多様な鑑賞体験や美術教育を紹介する場を 提供するとともに、様々な「ひと・もの・こ と」の交流を図る。 ・佐藤悟日本画展(仮) ・草薙郷子作品展(仮) ・永沢碧衣絵画展(仮)	児童 生徒 一般	5階ふれんどリーギャラリー 5月頃を予定 9月頃を予定 10月頃を予定
自主事業 平成27年度	・ふれんどリーギャラリーを活用した学校に よる展示事業		各展示概ね1か月程度
ネットワーク 事業	館蔵資料を県民に公開するとともに学習の 場を提供する。	一般	県立図書館
県事業 平成20年度	・「四季を描く」		12/11(木)～1/20(火)
出前美術展	東北電力(株)能代エナジウムパークと共催 し、近代美術館に来館することが難しい県民 へ所蔵作品を公開展示する。	一般	能代エナジウムパーク
自主事業 平成24年度	・展覧会名未定		8月下旬～9月頃を予定

(10) 秋田県立博物館

郵便番号	010-0124
所在地	秋田県秋田市金足嶋崎字後山52
電話番号	018-873-4121
FAX番号	018-873-4123
ホームページURL	https://www.akihaku.jp/
メールアドレス	info@akihaku.jp
設置年月日	昭和50年5月1日
延床面積	11,946.2㎡
構造	鉄筋コンクリート造り 地上3階、塔屋2階建
職員数	45名（うち常勤23名、非常勤22名）
休館日	毎週月曜日（ただし、休日又は8月29日に当たるときは、次の平日） 年末年始（12月28日～1月3日） 全館燻蒸消毒期間（6月第四月曜日から1週間）
令和6年度の開館日数	302日

利用状況

年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
入館者・利用者数	50,831	51,370	81,654	56,473	64,044
利用団体数	43	69	98	121	139
セカンドスクールの利用校数	110	128	136	112	111
セカンドスクールの利用人数	5,459	5,818	4,746	4,434	4,169

令和7年度重点目標

- ・博物館活動の核となる調査研究活動の一層の充実を図り、知的資産の価値を高め、地域に還元する。
- ・県民の文化的向上に資するため、郷土資料を中心とした資料の収集・保存・活用の推進を図る。
- ・驚きや感動があり、親しまれる展示活動を推進する。
- ・博物館活動の普及とサービスの一層の向上に努める。
- ・博物館活動の広報を通して、郷土への誇りや愛着の醸成に努める。
- ・県民の生涯学習に資する社会教育施設を目指し、幅広い年代の人たちに向けた教育普及活動に取り組む。

令和7年度事業

事業名	趣旨と内容	対象	期日及び場所
あきたMuseum 機能強化事業 (1)Museum特別 展充実事業	県民に魅力的で良質な展覧会を提供するとともに、観光需要に対応し、地域の活性化に寄与する。	一般	
県事業 令和6年度	・ヨシタケシンスケ展かもしれない		7/12(土)～9/7(日)
企画展	調査研究の成果を活かした展示を行う。 ・昭和のアキタ ―百年のくらしをつづる―	一般	4/26(土)～6/15(日)
県事業 昭和50年度	・かく、えがく。 ―菅江真澄遺墨資料展― ・秋田県博50年のあゆみ		9/27(土)～11/16(日) 1/10(土)～4/5(日)
企画 コーナー展	菅江真澄資料センターや秋田の先覚記念室を活用して展示を行う。 ・目潟巡る真澄 ―男鹿半島の三つの目潟― ・真澄の歩いた道《ひなの遊び》・ 《氷魚の村君》 ・真澄白語り	一般	7/5(土)～8/24(日) 11/1(土)～12/21(日) 3/14(土)～5/10(日) いずれも 菅江真澄資料センター
県事業 平成8年度	・秋田の酒と人		10/8(水)～12/7(日) 秋田の先覚記念室
博物館教室	調査研究をもとに、博物館活動の普及とサービスに努める。		
	・化石と地層の観察会	小学生以上 (小学生は保護者 同伴必要)	全2回 ①5/18(日)観察・採集 ②5/25(日)標本づくり 男鹿市安田海岸・実験教室
	・箸をつくる	一般	全2回 5/23(金)(2回目は参加者の 予定等を調整して日程決 定) 実験教室
	・「真澄に学ぶ教室」講読会 ―県外の日記を読む―	一般	全10回 (土曜日コース) 5/24、6/21、7/26、 8/23、10/25、11/15、 12/20、1/17、2/14、3/14 (日曜日コース) 5/25、6/22、7/27、 8/24、10/26、11/16、 12/21、1/18、2/15、3/15 学習室

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
博物館教室	・ 綿を紡ぐ	一般	全8回 6/4(水) (2回目以降は参加者の予定等を調整して日程決定) 実験教室・県立大学・公立美術大学
	・ 簡単！葉っぱの標本づくり	小学3年生以上 (小学生は保護者同伴必要)	6/15(日) 屋外・実験教室
	・ からむしを繙む	一般	全3回 6/19(木) (2回目以降は参加者の予定等を調整して日程決定) 実験教室
	・ 秋田の絞り染め (藍染め)	一般	全4回 ①7/5(土)オリエンテーション ②8/9(土)、10(日)、8/11(月祝) ③8/23(土)中間チェック ④10/11(土)、12(日)、10/13(月祝) ②と④は1日を選択して受講する。 講堂・実験教室・ガレージ
	・ 木工芸 木のオブジェづくり ランドスケープスカルプチャー	小学校高学年以上	7/6(日) わくわくたんけん室
	・ 貝輪をつくる	小学生以上 (小学生は保護者同伴必要)	7/20(日) 実験教室
	・ 初級者向け 秋田の中世史教室	高校生以上	全2回 7/20(日)、8/10(日) 学習室
	・ 初級編 秋田の縄文を学ぶ ～レプリカ・レリーフを作りながら	小学生以上 (小学生は保護者同伴必要)	7/26(土) 実験教室
	・ 昆虫教室 ー採集と標本づくりー	小学生以上 (小学生は保護者同伴必要)	全2回 7/27(日)、8/17(日) 小泉潟公園・実験教室
	・ 初級編 縄文のくらし (衣食) ～勾玉作り・弓矢と火起こし体験を通して	小学3年生以上 (小学生は保護者同伴必要)	8/3(日) 実験教室・講堂・ガレージ
	・ 絵本制作 「博物館歳時記 秋の章」	小学校高学年以上	全3回 9/7(日)、10/5(日)、11/9(日) わくわくたんけん室
	・ My Jomon Cup	高校生以上	全3回 ①9/7(日)講義・成形 ②9/14(日)講義・施文 ③10/5(日)カップ引き渡し・工房見学 実験教室・屋外
	・ 三浦館と旧奈良家住宅の見学会	一般	9/26(金) 三浦館・分館旧奈良家住宅

生涯学習 I 令和7年度施策概要

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
博物館教室	・ 60年前の秋田 ～モノや写真で思い出を語り合う会～	一般	10/4(土)、11/22(土) 学習室
	・ 初めての古文書解読	一般	全6回 10/5、10/12、10/19、 10/26、11/2、11/9 (いずれも日曜日) 学習室
	・ 久保田城「絵図歩き」	中学生以上	10/18(土) 千秋公園およびその周辺
	・ 「真澄に学ぶ出張教室」 ー菅江真澄入門ー	一般	10/19(日) 横手市立横手図書館
	・ 秋田の先覚記念室講演会	一般	10/26(日) 講堂
	・ 秋田の先覚を知る	高校生以上	11/8(土) 学習室・秋田の先覚記念室
	・ 「真澄に学ぶ教室」講演会 「真澄が見た生活風景 ー働く女性たちを中心にー」	一般	11/9(日) 講堂
	・ ゼロからはじめるワラ仕事	一般	全3回 11/12(水)、19(水)、26(水) 学習室
	・ 木工芸 Christmas Ornament	小学校高学年以上	12/7(日) わくわくたんけん室
	・ 鉱物標本の製作(入門編)	小学生以上 (小学生は保護者 同伴必要)	1/18(日) 実験教室
	・ 鉱物標本の製作(応用編)	中学生以上	1/25(日) 実験教室
県事業	・ こだしを編む	一般	全2回 3/10(火)(2回目は参加者の 予定等を調整して日程決定) 実験教室
昭和50年度	・ 民俗学入門講座	一般	3/15(日)、3/22(日) 学習室

(11) 秋田県立農業科学館

郵便番号	014-0073
所在地	秋田県大仙市内小友字中沢171-4
電話番号	0187-68-2300
FAX番号	0187-68-2351
ホームページURL	https://www.obako.or.jp/sun-agrin/
メールアドレス	noukan@obako.or.jp
設置年月日	平成3年5月22日
延床面積	4,699㎡
構造	RC造・一部木造・S造 地上1階地下1階
職員数	13人（うち常勤7名、非常勤6名）
休館日	年末年始・月曜日 （月曜日が祝日、県の記念日にあたる場合はその翌日）
令和6年度の開館日数	306日

利用状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入館者・利用者数	39,553	52,649	61,658	67,692	72,152
利用団体数	235	172	250	231	291
セカンドスクールの利用校数	133	123	106	109	107
セカンドスクールの利用人数	3,768	2,906	3,449	4,234	3,719

令和7年度重点目標

- ・食農に関する資料収集の強化と植栽の充実により、積極的な展示を行う。
- ・地域の企業、団体、学校等と連携した企画を推進し、賑わいの創出と地域活力の向上を目指す。
- ・館の植栽や自然環境、地域人材を生かした多様な体験活動を提供する。

令和7年度事業

事業名	趣旨と内容	対象	期日及び場所
特設展示	収蔵資料の農具や写真パネルなどを季節ごとに展示し、昔の農作業や農村生活の様子を紹介する。また他館や他機関と連携し県内外の食・農に関する事例や資料を紹介する。	一般	通年
県事業 平成23年度			展示通路
あきたMuseum 機能強化事業	【バラフェスタ】 バラ園にて栽培している約200種300株のバラを紹介し、鮮やかな色彩と芳香を楽しんでもらう。	一般	バラフェスタ 初夏を彩る 6/7（土）～6/22（日） バラ園
(1)Museum特別展 充実事業	【グリクラパーク】 バラフェスタ期間中の各週末に食・農に関する体験ブースやショップを出店し、幅広い年齢層に初夏を楽しんでもらう。		グリクラパーク 6/7（土）～6/22（日）期間の 各土日 やすらぎ広場
県事業 令和6年度			
特別展	【オータムフラワーフェスタ】 花火ダリアやバラなど敷地内の植物を紹介し、様々な色彩や樹木の紅葉を楽しんでもらう。	一般	オータムフラワーフェスタ 9/20（土）～10/26（日） 農業科学館
県事業 平成3年度	【洋ランフェスタ】 熱帯温室で栽培した多種類の洋ランを展示し、一足早い春の訪れを楽しんでもらう。		洋ランフェスタ 春を迎える 1/10（土）～3/1（日） 熱帯温室
特別展（共催）	【土器に生ける秋の草花展】 県内近郊で出土した土器に秋の草花を生けて展示し、地域の文化財への興味関心を高める。	一般	10/4（土）～10/13（月）
県事業 平成18年度	埋蔵文化財センターとの連携展示		ホワイエ
公募企画展	愛好者などの生涯学習発表の場として、山野草や花の工芸などを展示する。	一般	16企画 4月～3月
県事業 平成23年度	公募期間中に応募した各団体の作品等の展示		農業科学館
県内研究機関 紹介展	県内試験研究機関の概要及び研究内容、見本標本、パネル、パンフレット等を展示して、農林水産業についての理解を深める。	一般	通年
県事業 平成19年度			第二展示室

生涯学習 I 令和7年度施策概要

事業名	趣旨と内容	対象	期日及び場所
サン・アグリ ゼミナール	「自然・食」「キッズ」コースでは、ノルディックウォーキングや植物の観察、ジャム作り、敷地内の植栽を活用した創作活動などの体験的な学習や活動を提供し、自然に関する興味関心を高める。 「園芸」コースでは専門家から具体的な作業の手ほどきを受けたり、体験的に素材に触れたりする機会を提供することで、「食と農」の魅力を伝える人材の育成に資する。	一般、親子 (子は小中学生)	I：自然・食コース ノルディックウォーキング ① 4/26 (土) ② 10/11 (土) 簡単手作りパン 9/27 (土) 干し柿作り 11/8 (土) かざり炭作り 11/22 (土) II：園芸コース ガーデニング ① 5/10 (土) ② 5/31 (土) ③ 10/18 (土) フラワーアレンジメント ① 6/28 (土) ② 10/26 (日) ③ 12/20 (土) III：キッズコース 花を育てよう 5/3 (土) こけ玉作り 7/26 (土) ジャム作り① 8/2 (土) 収穫体験 10/25 (土) ジャム作り② 11/15 (土) クリスマスリース 12/6 (土) 木の実で工作 1/10 (土)
県事業 平成25年度			農業科学館
食・農体験	「寄せ植え」や「木の実工作」などの体験を通して、食料や農業についての興味関心を高める。	団体、一般、親子 (子は小中学生)	期日は不定期 農業科学館
県事業 平成23年度			
県立大学 連携ゼミナール	県立大学の教員を講師に招き、生物・環境・アグリビジネスなどの専門的な知見を体験的に学ぶ機会を提供する。	一般	初めてのダリア栽培 5/24 (土) 11/1 (土)
県事業 平成30年度			
			農業科学館

(12) 秋田県自然体験活動センター（あきた白神体験センター）

郵便番号	018-2617
所在地	秋田県山本郡八峰町八森字御所の台53-1
電話番号	0185-77-4455
FAX番号	0185-77-4456
ホームページURL	https://www.town.happo.lg.jp/shirakami-taiken/
メールアドレス	shirakami-tc@town.happou.akita.jp
設置年月日	平成19年7月1日
延床面積	2,561㎡
構造	鉄筋コンクリート2階建、鉄骨平屋建（多目的ホール）
職員数	9名〔常勤4、臨時的任用5（うち通年2、期間3）〕
休業日	年末年始
令和6年度の開館日数	359日

利用状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
入館者・利用者数	3,361	3,812	4,024	4,886	5,110
利用団体数	160	146	174	212	243
セカンドスクールの利用校数	58	77	63	59	65
セカンドスクールの利用人数	2,314	4,367	3,829	3,553	3,612
宿泊者数	520	1,946	2,458	2,737	3,063

利用日数別実績

年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
日帰り	137	88	97	115	120
	2,841	1,866	1,566	2,053	2,208
1泊	23	57	68	79	105
	520	1,928	2,154	2,401	2,426
2泊	0	1	6	4	14
	0	18	118	116	392
3泊以上	0	0	3	14	4
	0	0	186	220	245

令和7年度重点目標

- ・セカンドスクールの利用の推進と学校のねらいに応じた活動支援
- ・利用者のニーズに応える魅力的で多様な主催事業の展開
- ・利活用促進のための施設の周知と情報発信の強化
- ・事故の絶無を期する活動支援と施設点検および環境整備

令和7年度事業

【小学生・中学生向け事業】

事業名	趣旨と内容	対象	期日及び場所
あきた白神 わんぱく夏塾	日本海と白神山地の恵みに触れる自然体験活動と宿泊を通し、自然から感動を得たり、自律心と協調性を育み合ったりする。	小4～ 中3	8/1（金）～2（土）
主催事業 平成24年度	・シーカヤック・磯遊び・森林散策・食づくり		あきた白神体験センター 八峰町留山、白瀑神社、中浜海岸
あきた白神 わんぱく冬塾	秋田の冬に親しむ体験活動と、集った仲間との宿泊を通し、自然から感動を得たり、自律心と協調性を育み合ったりする。	小4～ 中3	1/8（木）～9（金）
主催事業 平成24年度	・冬の里山散策・創作活動・食づくり		あきた白神体験センター 御所の台里山
雪遊び	そり遊びや調理体験を通し、自然に触れる体験活動を楽しむ。	小1～ 小6	① 1/18（日） ② 2/15（日）
主催事業 令和6年度	・そり遊び・食づくり		あきた白神体験センター 御所の台里山

【親子向け事業】

事業名	趣旨と内容	対象	期日及び場所
親子で体験隊！	親子で行う自然体験活動や食づくり体験等を通し、自然に親しみ親子の絆を深める。	親子	① 5/18（日） ② 9/14（日） ③ 11/9（日）
主催事業 平成22年度	・留山散策・シーカヤック・食づくり		あきた白神体験センター 八峰町留山
体験センター フェスティバル	創作活動のお試しコーナーや、スポーツ・自然体験コーナーを設け、施設の周知を図る。	親子 一般	10/19（日）
主催事業 平成25年度	・創作体験・館内見学・タコ採りと磯釣り		あきた白神体験センター 滝ノ間海岸

生涯学習 I 令和7年度施策概要

【一般向け事業】

事業名	趣 旨 と 内 容	対 象	期 日 及 び 場 所
春の里山散策	春の里山を歩き、野鳥や花を観察して自然に親しむ。 ・里山散策	一般	4/20（日） あきた白神体験センター 御所の台ふれあいパーク周辺
主催事業 平成31年度			
冒険クラブ	日本海や御所の台里山の自然に触れる体験活動を楽しむ。 ・シーカヤック・里山散策	一般	① 8/16（土） 中浜海岸 ② 2/1（日） 御所の台里山
主催事業 平成26年度			
秋の里山散策	落ち葉のやわらかな踏み心地を味わい、見晴らしの良い里山から秋田県北部の海岸線を一望しながら散策を楽しむ。 ・里山散策	一般	10/26（日） あきた白神体験センター 御所の台里山
主催事業 平成21年度			

【一般向け事業】

健康アップ講座	ココロとカラダに効く運動で、冬の運動不足解消を目指します。	一般	① 11/30（日） ② 12/14（日） あきた白神体験センター
主催事業 令和7年度	・ニュースポーツ		
冬の里山トレッキング	プラスチックかんじきで白銀の林間を散策し、あきた白神の冬を楽しむ。 ・冬の里山トレッキング	一般	2/1（日） あきた白神体験センター 御所の台里山
主催事業 平成25年度			
マンサクを見よう	里山散策とマンサクの花の観賞を通し、春の訪れを味わう。 ・里山散策・マンサク観賞	一般	3/7（土） あきた白神体験センター 御所の台里山
主催事業 平成22年度			
春のスポーツ体験	ニュースポーツや軽運動等で体力つくりと心身のリフレッシュを図る。 ・ニュースポーツ・ミニテニスなど	一般	① 3/11（水）～3/13（金） ② 3/17（火）～3/19（木） あきた白神体験センター
主催事業 平成23年度			